

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 5 月 24 日 (2007.5.24)

【公表番号】特表 2006-523224 (P2006-523224A)

【公表日】平成 18 年 10 月 12 日 (2006.10.12)

【年通号数】公開・登録公報 2006-040

【出願番号】特願 2006-508920 (P2006-508920)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/12 (2006.01)

A 6 1 K 39/21 (2006.01)

A 6 1 K 31/711 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

A 6 1 P 33/00 (2006.01)

A 6 1 P 33/02 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/00 Z N A A

A 6 1 K 39/12

A 6 1 K 39/21

A 6 1 K 31/711

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 31/18

A 6 1 P 33/00

A 6 1 P 33/02

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/04

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 43/00 1 2 1

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 23 日 (2007.3.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

哺乳類の対象にて抗原特異的免疫応答を誘導するための医薬の製造における、

(a) DNA プラスミドによるその発現に対する調節配列による調節の下で、抗原をコード化する DNA 配列を含む DNA プラスミドを含む一番目の組成物と；

(b) 組換え水疱性口内炎ウイルス (VSV) によるその発現に対する調節配列による調節の下で、該抗原をコード化する核酸配列を含む組換え VSV を含む二番目の組成物との使用。

【請求項 2】

VSV が複製成分であるか、複製できないところの、請求項 1 記載の使用。

【請求項 3】

医薬がサイトカインをさらに含むところの、請求項 1 記載の使用。

【請求項 4】

サイトカインが、(i) DNA プラスミドによるその発現に対する調節配列による調節の下で、サイトカインをコード化する DNA 配列を含む DNA プラスミドを含む核酸組成物、または (ii) タンパク質であるところの、請求項 3 記載の方法。

【請求項 5】

サイトカインが、IL - 12、IL - 15、GM - CSF およびそれらの組み合わせからなる群から選ばれるところの、請求項 4 記載の使用。

【請求項 6】

サイトカインコード化配列が、抗原コード化配列と同一の DNA プラスミド上に存在するか、該抗原をコード化する DNA プラスミドとは異なる DNA プラスミド上に存在するところの、請求項 5 記載の使用。

【請求項 7】

抗原が、タンパク質、ポリペプチド、ペプチド、それらの断片または融合体であり、そのタンパク質が、細菌、ウイルス、真菌、寄生虫、癌細胞、腫瘍細胞、アレルゲンおよび自己分子からなる群から選ばれるメンバーに由来するところの、請求項 1 記載の使用。

【請求項 8】

抗原が、gag、pol、env、nef、vpr、vpu、vif および tat、およびそれらの免疫原性断片または融合体からなる群から選択されるヒトまたはサル免疫不全ウイルス抗原であるところの、請求項 7 記載の使用。

【請求項 9】

一番目の組成物が、(i) 同一または異なる抗原の一つより多くのコピーをコード化する DNA 配列を含む一つの DNA プラスミド、または (ii) 各々の DNA プラスミドが同一または異なる抗原をコード化する、一つより多くの DNA プラスミドを含むところの、請求項 1 記載の使用。

【請求項 10】

その免疫応答が、(i) 抗原に対する CD8 + T 細胞反応において、DNA プラスミドまたは組換え VSV 単独で投与することによって達成されるよりも向上していること、または (ii) 抗原に対する抗体反応において、一番目の組成物または二番目の組成物単独で投与することによって達成されるよりも相乗的に向上していることを含むところの、請求項 1 記載の使用。

【請求項 11】

医薬が少なくとも二つの組換え VSV をさらに含む、請求項 1 記載の使用。

【請求項 12】

各々の組換え VSV が、(i) 同じ抗原コード化配列であるが、異なる VSV の G タンパク質および異なる VSV 血清型を有するか、(ii) 同じ VSV G タンパク質であるが、異なる抗原コード化配列を有するか、または (iii) 異なる抗原コード化配列を有し、異なる VSV の G タンパク質を有するところの、請求項 11 記載の使用。

【請求項 13】

哺乳類の対象にて抗原に対する抗原特異的免疫応答を誘導するための免疫原性組成物で

あって、

(a) DNA プラスミドによるその発現に対する調節配列による調節の下で、抗原をコード化する DNA 配列を含む DNA プラスミドを含む一番目の組成物と；

(b) 組換え水疱性口内炎ウイルス (V S V) によるその発現に対する調節配列による調節の下で、該抗原をコード化する核酸配列を含む少なくとも一つの組換え V S V と、を含む免疫原性組成物。

【請求項 1 4】

V S V が複製成分であるか、複製できないところの、請求項 1 3 記載の組成物。

【請求項 1 5】

サイトカイン組成物をさらに含むところの、請求項 1 3 記載の免疫原性組成物。

【請求項 1 6】

そのサイトカイン組成物が、DNA プラスミドによるその発現に対する調節配列による調節の下で、サイトカインをコード化する DNA 配列を含む DNA プラスミドを含む核酸組成物を含むところの、請求項 1 5 記載の免疫原性組成物。

【請求項 1 7】

DNA プラスミドによるその発現に対する調節配列による調節の下で、抗原をコード化する DNA 配列を含む DNA プラスミドを含む、少なくとも一つの一番目の組成物と；

組換え水疱性口内炎ウイルス (V S V) によるその発現に対する調節配列による調節の下で、該抗原をコード化する核酸配列を含む組換え V S V を含む、少なくとも一つの二番目の組成物と；

哺乳類の対象にて抗原特異的免疫応答を誘導する方法を行うための取扱説明書と、を含むキット。

【請求項 1 8】

V S V が複製成分であるか、複製できないところの、請求項 1 7 記載のキット。

【請求項 1 9】

サイトカイン組成物をさらに含む、請求項 1 7 記載のキット。

【請求項 2 0】

そのサイトカイン組成物が、DNA プラスミドによるその発現に対する調節配列による調節の下で、サイトカインをコード化する DNA 配列を含む DNA プラスミドを含む核酸組成物を含むところの、請求項 1 9 記載のキット。